

「椰子の実」

島崎 藤村 【作詞】 ・ 大中 寅二 【作曲】

1. 名も知らぬ 遠き島より
流れ寄る 椰子の実一つ
故郷(ふるさと)の岸を 離れて
汝(なれ)はそも 波に幾月(いくつき)
2. 実をとりて 胸にあつれば
新(あらた)なり 流離(りゅうり)の憂(うれい)
海(うみ)の日の 沈(しず)むを見れば
激(たぎ)り落(お)つ 異郷(いきょう)の涙



昨年は、2週間と短縮された夏休みでしたが、今年は、いつも通りの夏休み期間となりました。数えると 35 日あります。児童のみなさんにはどうかこの期間にしかできない体験を積んでほしいと思います。折しも、今夏は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。また、昨年は軒並み中止となった学生スポーツ等の大会も多く開催されます。どの選手も夢の実現に向かって、大舞台に立ちます。皆さんもそれら選手の姿勢から学び、又自身の夢を育てる絶好の機会です。見聞きし感じたことを自分に生かしてほしいです。

また、学習以外にも心を磨く夏休みにしてほしいです。『あいさつ』、『コツコツと励み続けること』、そして、『読書』は、夏休み期間も同様に大切に育ててほしい習慣です。

1 学期を振りかえって ～ お礼 ～

明日は、1 学期の終業式です。この間、児童や教職員の安全・安心を脅かす重大な事柄なく 1 学期を無事に終えることができそうです。これも一重に本校の教育推進にご理解とご支援を寄せていただいている保護者の皆様方のお陰です。ありがとうございました。

振り返れば、この 1 学期も昨年度に続き、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の発令等に苦慮し、対応と決断に迫られた日々でした。とくに 4 月の市内感染状況は、本校においても、日々極度の緊張を強いられる毎日でした。また、5 月下旬からのマスク着用と熱中症予防の表裏の課題対応にも苦慮しました。さて、未だコロナ禍で先の見えない最中ですが、この夏休み期間、お子様を全日一旦ご家庭に託します。宜しくお願い申し上げます。

ご家族の皆様の健康を願いつつ、全校児童との 2 学期初日の再会を楽しみにしています。

※ 重 要 な お 知 ら せ

今月行われた校長会議で、運動会と学習発表会についての今後の行事の方向性が、教育委員会より示されました。本校の上記、二行事の日程については、すでに『東豊台だより第 6 号』でお知らせ済みですが、緊急事態宣言が発令されている期間については、延期、もしくは中止となります。取り急ぎ、お知らせさせていただきます。



2 学期始業式・・・8 月 25 日(水)

